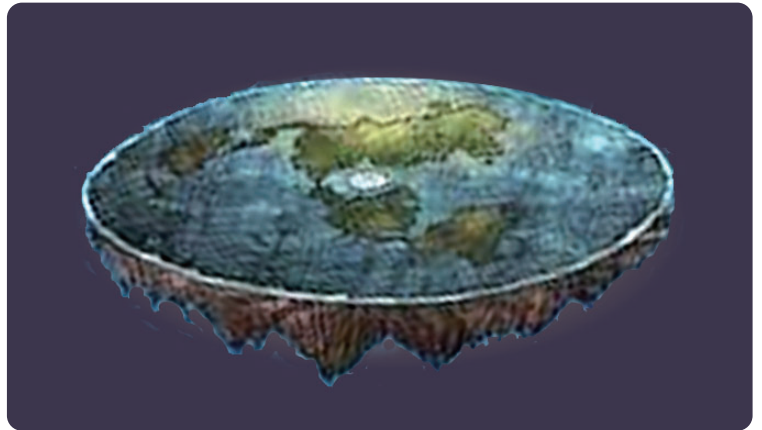


第2章 地は円形? part I

ヨブ記 26:10

大地が球体でないことはすでに完全に実証済み（フラットであるという結論以外の他に選択肢がない）なので、ここでは「円形」について考察します。



「原始の海の面に円を描いて光と暗黒との境とされる。」新共同訳

「水の面に円を描いて、光とやみとの境とされた。」新改訳

「水のおもてに円を描いて、光とやみとの境とされた。」口語訳

ヨブ記 26:10 各単語の意味（ヘブライ語は右から左に読みます）

mā·yim;	pə·nê-	'al-	hāg	hōq-	
מַיִם	פְּנֵי-	עַל-	חָג	חֹק	
of the waters	the face	on	He drew	statute	
水の	表面		描く	法令	
	hō·šek.	'im-	'ō·wr	tak·līt	'ad-
	חֹשֶׁךְ:	עִם-	אֹר	תְּכֵלִית	עַד-
	darkness	and	Of light	the boundary	at
	闇		光	境界	

各単語を見てお分かりのように「円」という語は存在しません。

では翻訳に見られる「円」はどこから出てきたのでしょうか。

また、前後の文脈から地球のことを述べているのは解りますが、この聖句は単に水の表面に明暗の境界を定めたと述べているだけで「地球」の具体的なカタチについては何も語ってはいません。

仮に「円を描いた」としても地が円形であるといえる根拠は何もありません。

しかしともかく、主だった翻訳はどれも、ヘブライ語の「フーグ（描いた）」という動詞を「円を描いた」と「円」という名詞を付加して訳しているわけです。

なぜそうなっているのかを調べてみましょう。

ストロングのコンコーダンスによれば、このחָג [フーグ（動詞）] は、חָגָה [ハーガグ（名詞）] から派生した語であると説明されています。

A primitive root (compare chagag)

Strong's Concordance

chagag: to make a pilgrimage, keep a pilgrim feast

Original Word: חָגַג

Part of Speech: Verb

Transliteration: chagag

Phonetic Spelling: (khaw-gag')

Definition: to make a pilgrimage, keep a pilgrim feast

基本的な意味は「巡礼を行う」で、この語は聖書中に16回使用されており、殆どの場所で celebrate[祭り]と訳されています。一例を挙げておきましょう。

「毎年七日の間、これを主の祭り [ヘ語: ハーガグ] として祝う。

第七の月にこの祭り [ヘ語: ハーガグ] を祝うことは、代々にわたって守るべき不変の定めである。」レビ記 23:41

「祭り」と「円」がどんなつながりがあるのだらうと思いますが、年間の定まった祭り、(例えば、新年(ロシュ・ハシャナ)、春の過越し祭(ペサハ)、夏の七週の祭り(シャブオット)、秋の仮庵の祭り(スコット)、贖罪日(ヨム・キフル) など)

を順に行うということから、「巡る、回る」という意味を持つようになったようです。

予定通りしっかり実行して一巡するということから、「円を描く」というニュアンスが生じたと考えられますが、もともと形状としての円形というものではなく、「巡る」ということから、回る、カーブ、円弧というイメージの名詞が派生したようです。

ヨブ記 26:10 の「フーグ」という動詞は、全聖書中、たった1箇所、ここにしか使われていないので、どんなニュアンスで使用されているのか聖書そのものからは推察しようがないのですが、長年ヘブライ語から遠ざかることになった各地に離散したユダヤ人のために西暦前3世紀頃にギリシャ語に翻訳された「セフトアギンタ訳」という旧約聖書があります。

1世紀当時、イエスや弟子たちが用いたのがこの訳だとされています。

それでセフトアギンタ訳のヨブ 26:10 を見て、「フーグ」にどのようなギリシャ語が当てられているのか見てみることにしましょう。

[*πρόσταγμα ἐγύρωσεν ἐπὶ πρόσωπον ὕδατος μέχρι συντελείας φωτὸς μετὰ σκότους*]

ここの2番めの単語 [ἐγύρωσεν(エギロセン)] がそれに当たりますが、この語も今日の聖書の中にここにしか使われておらず、非常に古代の単語で、明確に何を意味するのか資料に乏しい状況にあるようですが、様々な解説を見ますと、「囲む、包む」というのが一般的な意味としています。

Webster's Bible 訳では、単に encompassed the waters 水を囲んだ

ただ、一般の聖書に含まれない外典扱いされている「シラ書」の43章には唯一このギリシャ語単語が現れます。

「虹を見て、その造り主をほめたたえよ。その輝く様はひとときわ美しい。それは天に栄光の弧を描く。これはいと高き方の手が引き絞ったもの。」43:12 新共同訳

[ἐγύρωσεν] は「弧を描く」と訳出されています。

「虹」に関する記述ですので、この描写はわかりやすいですが、「弧」であって、決して「円」ではありません。